

5. 健康格差の緩衝要因; 社会関係・社会的孤立の関連

研究分担者 齊藤雅茂 (日本福祉大学社会福祉学部 准教授)

<要旨>

高齢者以外の年齢層でも、世代を超えて社会経済的地位による健康格差があることが確認された。他方で、社会関係を有していれば、健康に及ぼす負の影響の一部は緩衝されうることが示唆された。社会関係の乏しさについても顕著な地域差があるため、重点対象地域を設定することの有効性が示唆された。

神戸市の行った調査に協力して集計・分析を実施した。データの研究への二次利用について神戸市の倫理審査委員会の承認手続き中であるため、神戸市に報告済みの要旨のみ掲載した。神戸市の報告書は巻末の参考資料を参照のこと。